

令和4年度

水質年報



東京都水道局

凡 例

- 1 試験成績表示方法及び単位は、原則として上水試験方法による。
- 2 各項目の平均値は算術平均を用い、水源水質調査における流量は幾何平均値（流量が0.01m³/秒未満又は逆流の場合は計算から除外）とした。

また、大腸菌の平均欄は、検査回数（分母）のうち、検出された回数（分子）を表す。
定量下限値未満の値については、0として平均値を算出した。

- 3 平均値については、以下のとおり記載した。

平均値 本年度（令和4年度）の平均値

昨年度平均値 昨年度（令和3年度）の平均値

平年値 過去5年間（平成29年度から令和3年度まで）の平均値

同月値 過去5年間（平成29年度から令和3年度まで）の同月の平均値

- 4 測定値が定量下限値未満であった場合、文章中では「(各物質の定量下限値) 未満」と表示し、成績表では「< (各物質の定量下限値)」と表示する。
- 5 「第8 調査実験」は、水質センターにおける令和4年度水質報告会提出資料を修正したものである。
- 6 成績表及び文章中で、一部の項目名等を次のように略記したものがあ

過マンガン酸カリウム消費量	・・・・・・・・	KMnO ₄ 消費量
アンモニア態窒素	・・・・・・・・	NH ₃ -N
亜硝酸態窒素	・・・・・・・・	NO ₂ -N
硝酸態窒素	・・・・・・・・	NO ₃ -N
メチレンブルー活性物質	・・・・・・・・	MBAS
生物化学的酸素要求量	・・・・・・・・	BOD
化学的酸素要求量	・・・・・・・・	COD
全有機炭素	・・・・・・・・	TOC
紫外線吸光度（波長 260nm、セル長 50mm）	・・・・・・・・	UV260
最確数	・・・・・・・・	MPN
毒性等量	・・・・・・・・	TEQ
2-メチルイソボルネオール	・・・・・・・・	2-MIB
ポリ塩化アルミニウム	・・・・・・・・	PAC
生物活性炭	・・・・・・・・	BAC

ペルフルオロオクタンスルホン酸	PFOS
ペルフルオロオクタン酸	PFOA
ペルフルオロヘキサンスルホン酸	PFHxS

目 次

凡 例

第 1	水質検査結果の数値の取扱い	1
第 2	水質管理のあらまし	9
1	水道水源の水質管理	9
2	浄水場の水質管理	10
3	給水栓の水質管理	10
4	新たな水質問題に対する取組	11
5	多摩地区における水質管理体制	11
6	放射能対応	12
第 3	水源の水質	17
1	水源水質調査	17
(1)	水源水質調査の概要	17
(2)	水源水質調査結果	19
ア	利根川上流・荒川水系	19
イ	利根川下流・江戸川水系	24
ウ	多摩川水系	29
エ	相模川水系	33
(3)	支川調査結果	38
2	小河内貯水池の水質管理	43
(1)	水質調査の概要	43
(2)	貯水池の運用状況	44
(3)	ダム前定点表層水とダム放流水の水質	44
(4)	流入河川の水質調査	49
3	村山上貯水池、村山下貯水池及び山口貯水池の水質管理	52
(1)	水質調査の概要	52

(2) 貯水池の運用状況	52
(3) 主な項目の概況	54
4 水源河川における水質事故	59
第4 浄水場の水質	61
1 大規模浄水場の施設概要	61
2 主な大規模浄水場原水の水質経年変化	63
3 大規模浄水場の概況及び水質検査結果	67
(1) 東村山浄水場	69
(2) 境浄水場	75
(3) 杉並浄水所	78
(4) 小作浄水場	79
(5) 玉川浄水場	82
(6) 砧浄水場	85
(7) 砧下浄水所	88
(8) 長沢浄水場	91
(9) 金町浄水場	94
(10) 三郷浄水場	98
(11) 朝霞浄水場	101
(12) 三園浄水場	104
4 多摩地区小規模浄水施設の概況及び水質検査結果	107
5 農薬類の検出値詳細、要検討項目試験及び浄水処理対応困難物質試験	195
(1) 農薬類	195
(2) 要検討項目	195
(3) 浄水処理対応困難物質	195
第5 給水栓の水質	235
1 給水栓水の水質検査	235
2 区部給水栓水の水質検査	238
3 多摩地区給水栓水の水質検査	287

4	要検討項目試験	373
5	依頼水質検査	378
	(1) お客さまからの依頼水質検査（区部）	378
	(2) 局内関係部署からの依頼水質検査（区部）	379
	(3) お客さまからの依頼水質検査（多摩地区）	380
	(4) 局内関係部署からの依頼水質検査（多摩地区）	381
第6	その他の試験	383
1	浄水薬品規格試験	383
2	腸管ウイルス検査	385
3	放射性物質測定結果	386
第7	工業用水の水質	389
1	浄水場の概況	389
2	給水栓水の水質検査	392
3	依頼水質検査	393
第8	調査実験	395
1	利根川水系の高度浄水処理に関する調査（最終報告）	395
2	顕微鏡観察の自動化に向けた事前検証	396
3	荒川水系におけるジクロロメタン流出事故対応	397
4	水質事故対応能力向上に向けた取組	398
5	水質センター監視課における漏水判定試験の実施状況について	399
6	給水栓残留塩素の実態調査	400
7	自動水質計器の増設に向けた残塩状況調査と増設地点の選定	401
8	多摩地域における水質事故対応に向けたクロム分別定量法の検証	402
9	多摩水道改革推進本部における新規測定対象農薬の分析方法に関する検討	403
10	監視課における「新たな OJT」の試行	404
11	令和3年度朝霞浄水場における冬期のかび臭原因物質対応について	405

12	令和3年度朝霞浄水場冬期かび臭対応時における臭素酸の生成・除去状況について	406
13	水質検査計画上のPRTR物質の再選定と新規対象物質の分析手法の検討について	407
14	水質事故時等の対応力強化に向けた未知物質特定手法の検討 (SPME-GC/MS、中間報告)	408
15	水質事故時等の対応力強化に向けた未知物質特定手法の検討 (LC/TOF-MS、中間報告)	409
16	戸倉浄水所における原水色度を指標としたPAC注入指針の検討	410
17	山間部浄水施設における色度フィルターの交換周期の検討	411
18	富士山火山噴火による降灰が浄水処理に与える影響	412
 (資 料)		
資料1	令和4年度水質検査計画 (要約)	413
資料2	水質基準項目等	423
資料3	クロロフィル a 合計量の計算方法	429